

年金加入記録回答票

- ・「もれ」や「誤り」がない場合には、ご返送いただく必要はありません。
- ・今回お届けした年金加入記録に「もれ」や「誤り」がある場合には、必要事項をご記入のうえ同封の返信用封筒によりご返送ください。

※各共済組合等における加入記録については、各共済組合等にお問い合わせください。

1. はじめに、下の太枠内にご記入ください。(提出年月日 令和 年 月 日)

(フリガナ) 氏 名	照会番号					
	生年月日	昭和・平成	年	月	日	男・女
現 住 所	〒 -					
電話番号	ご自宅 ()			ご自宅以外 ()		
代理人氏名				代理人連絡先 ()		
代理人住所						

2. お知らせした年金加入記録に「もれ」や「誤り」がある場合は、追加すべき記録の内容や、修正すべき記録の内容をご記入ください(わかる範囲で結構です)。

① 該当 番号	② 加入 制度	(フリガナ) ③ お勤め先の名称	④ お勤め先の所在地または国民 年金に加入していた当時の住所	⑤ 勤務期間または 国民年金加入期間	⑥ 年金手帳の記号番号 当時の旧氏名
	国年 厚年 船保			年 月 日から 年 月 日まで	
				年 月 日から 年 月 日まで	
	国年 厚年 船保			年 月 日から 年 月 日まで	
				年 月 日から 年 月 日まで	
	国年 厚年 船保			年 月 日から 年 月 日まで	
				年 月 日から 年 月 日まで	

3. お知らせした厚生年金保険などの標準報酬月額や国民年金の保険料納付状況に「誤り」がある場合は、該当する期間と「誤り」の具体的な内容をご記入ください。

※ご記入いただいた内容を調査するため、1でご記入いただいた連絡先に、後日、日本年金機構年金事務所よりご連絡させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

⑦ 制度	⑧ 「誤り」のある期間			⑨ 「誤り」の具体的な内容
国年 厚年 船保	昭和・平成・令和	年	月から	
	昭和・平成・令和	年	月まで	
国年 厚年 船保	昭和・平成・令和	年	月から	
	昭和・平成・令和	年	月まで	
国年 厚年 船保	昭和・平成・令和	年	月から	
	昭和・平成・令和	年	月まで	

(注) この「年金加入記録回答票」に書ききれない場合には、お手数ですが別途便せんなどにご記入ください。

今回お送りした「ねんきん定期便」は、データ作成日（1ページ記載）時点の前々月までの記録をお知らせしているため、直近の年金加入記録が反映されていない場合があります。

直近の年金加入記録をご確認いただく場合は、「ねんきんネット」をご利用ください。

年金加入履歴に「もれ」や「誤り」がある場合のご記入方法

- ①欄…お知らせした記録に「誤り」があると思われる場合は、該当する記録の番号（「これまでの『年金加入履歴』」の①欄の番号）を記入してください。追加の記録を記載する場合は空欄で結構です。
- ②欄…加入していた制度を○で囲んでください。
- ③欄…お勤め先の名称（本社、支社、本店、支店、営業所、工場などの名称についても）をできるだけ詳しく記入してください。
- ④欄…お勤め先の本社、本店などの所在地をできるだけ詳しく記入してください。わからない場合は市区町村名でも結構です。国民年金の場合は当時の住所をできるだけ詳しく記入してください。
- ⑤欄…勤務期間または国民年金の加入期間を記入してください。
- ⑥欄…当時の「年金手帳」または「厚生年金保険被保険者証」をお持ちの方は「記号番号」を記入してください。わからない場合は省略しても結構です。
婚姻・養子縁組などで氏名が変わる前の記録がもれている場合には、旧氏名を記入してください。

「年金加入記録回答票」の記入例

年金加入記録回答票

・「もれ」や「誤り」がない場合には、ご返送いただく必要はございません。
・今回お届けした年金加入記録に「もれ」や「誤り」がある場合には、必要事項をご記入のうえ同封の返信用封筒によりご返送ください。

※各共済組合等における加入記録については、各共済組合等にお問い合わせください。

1. はじめに、下の太枠内にご記入ください。（提出年月日 令和 X 年 XX 月 XX 日）

(フリガナ) 氏名	ネンキン ハナコ	照会番号	XXX XXX XXX XXX	
	年金 花子	生年月日	昭和 平成 XX 年 X 月 X 日	男 女
現住所	〒 1 6 8 - 0 0 7 1			
	東京都 杉並区 高井戸西 3-5-24			
電話番号	ご自宅 03 (XXXX) XXXX	ご自宅以外 090 (XXXX) XXXX		
代理人氏名		代理人連絡先 ()		
代理人住所				

2. お知らせした年金加入記録に「もれ」や「誤り」がある場合は、追加すべき記録の内容や、修正すべき記録の内容をご記入ください（わかる範囲で結構です）。

① 該当番号	② 加入制度	③ (フリガナ) お勤め先の名称	④ お勤め先の所在地または国民年金に加入していた当時の住所	⑤ 勤務期間または国民年金加入期間	⑥ 年金手帳の記号番号 当時の旧氏名
	国年 厚年 船保	XXX カブシキガイシャ XXX 株式会社	神奈川県 XX 市 XXX X-XX-XX	昭和56 年 4 月 1 日から 昭和58 年 3 月 31 日まで	XXXX-XXXXXX 厚年 花子
	国年 厚年 船保		東京都 XX 区 XXX X-XX-XX	昭和61 年 10 月 1 日から 平成2 年 3 月 31 日まで	
	国年 厚年 船保			年 月 日から 年 月 日まで	
	国年 厚年 船保			年 月 日から 年 月 日まで	

3. お知らせした厚生年金保険などの標準報酬月額や国民年金の保険料納付状況に「誤り」がある場合は、該当する期間と「誤り」の具体的な内容をご記入ください。
※ご記入いただいた内容を調査するため、1でご記入いただいた連絡先に、後日、日本年金機構年金事務所よりご連絡させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

⑦ 制度	⑧ 「誤り」のある期間	⑨ 「誤り」の具体的な内容
国年 厚年 船保	昭和(平成)令和 2 年 4 月から 昭和(平成)令和 3 年 3 月まで	この期間について、標準報酬月額が誤っている。 96,000となっているが、H2年4~9月の月給は24万円くらいだった。 H2年10月~H3年3月の月給は27万円くらいだった。
国年 厚年 船保	昭和・平成・令和 年 月から 昭和・平成・令和 年 月まで	
国年 厚年 船保	昭和・平成・令和 年 月から 昭和・平成・令和 年 月まで	

(注) この「年金加入記録回答票」に書ききれない場合には、お手数ですが別途便せんなどにご記入ください。

太枠内について記入してください。

氏名、生年月日、性別、現住所、電話番号を記入してください。

- 「ねんきん定期便」に表示されている氏名、住所が異なっている場合は、お手数ですが、
- ◆ 厚生年金保険に加入している方は、勤務先の事業所へ
 - ◆ 国民年金に加入している方は、
 - ・自営業者、学生の方など（第1号被保険者）は、お住まいの市区町村役場へ
 - ・厚生年金保険、共済組合等に加入している方の配偶者（第3号被保険者）は、配偶者の勤務先の事業所へ変更のお申し出をお願いします。

代理人について

ご本人が病気、ケガなどにより記入できず、代理の方がこの回答票を記入された場合に、記入してください。

標準報酬月額や国民年金の納付状況に「誤り」がある場合の記入方法

- ⑦欄…標準報酬月額の訂正が、厚生年金保険の加入期間の場合は「厚年」、船員保険の加入期間の場合は「船保」に○を付けてください。
- ⑧欄…「誤り」があると思われる記録の該当期間を記入してください。詳しくわからない場合は「〇〇年〇〇月頃」または「〇〇年の春（夏秋冬）頃」といった記入でも結構です。
- ⑨欄…「誤り」の内容について、できるだけ詳しく記入してください。標準報酬月額や国民年金の納付状況の訂正の場合には、当時の住所や当時の年金手帳の記号番号などについて記入してください。